

はじめに

千代田区立日比谷図書文化館は、歴史と伝統のある旧都立日比谷図書館を東京都から移管を受けて、千代田区が2011年11月4日に新たにオープンした文化施設です。

民間5社のコンソーシアム（指定管理者）が運営・管理にあたっています。千代田区の住民は約4万7千人ですが、日比谷周辺は住民が少なく、区民の通常の図書館利用には遠い場所といえます。そのような条件の中で、日比谷公園の緑に囲まれたすばらしい立地環境のもと、約85万人におよぶ在勤・在学者の「学びの場」になるよう努力しています。

特に日比谷図書文化館の周辺の官庁街、オフィス街には約10万人をこえるビジネスパーソンがいます。このような環境の中で、区民並びに近隣のビジネスパーソンの利用を図るために従来の図書館には無い魅力を備えた「四つの機能」が織りなす新たな文化空間、学びの拠点を目指しています。

「四つの機能」とは、館全体の基盤となる「図書館機能」、千代田区の文化資源の活用、成果の展示・発表、およびコンソーシアムが企画する特別展示などの「ミュージアム機能」、特別研究室やホールなどの施設を活用する「文化活動・交流拠点機能」、そしてこれら三つを発展的につなぐ役割の「アカデミー機能」です。

開館から5ヶ月間、各部門の担当者が自己の担当領域および業務を把握するとともに、各部門間の相互連携度を高め、館全体で「四つの機能」の達成度向上に取り組んでおります。

本館の基盤である図書部門については、区並びに千代田図書館との連携のもと、収集方針を作成しています。旧都立日比谷図書館や千代田図書館から移管された資料を活かしつつ、日比谷の立地に即した、特別館にふさわしい蔵書構築を図っております。

ミュージアム部門は区の文化財部門との連携をはかり、特別展の広報、運営にあたりるとともに、区内ミュージアム施設との連携も図りつつあります。

開館時を含めマスコミ報道もあり話題を呼んでおりますが、リニューアルオープンまでの2年半の閉館期間があり、また、情報発信・広報活動の不徹底などもあり当初予定の利用状況まで達していません。これらの課題対応に向けて全館員あげて取り組んでまいります。

関係各所におかれましては、本年報から、日比谷図書文化館の5ヶ月間の実績をご覧いただき、ご指導、ご鞭撻をいただけますようお願いいたします。

平成24年6月

千代田区立日比谷図書文化館
館長 若林 尚夫

目 次

はじめに	1
I 日比谷図書文化館紹介	
I-1 沿革	4
I-2 施設の概要	6
II 業務概要	
II-1 四つの機能	7
II-2 運営・管理部門	8
II-3 組織図	9
II-4 会計報告	10
III 事業実績報告	
III-1 図書部門	
1. サービス	12
2. システム・設備	21
III-2 ミュージアム部門	
1. 常設展示	25
2. 特別展示	26
3. ミュージアム連絡会	29
4. 特別研究室	29
内田嘉吉文庫	32
5. コンシェルジュ	33
6. その他	34
III-3 文化活動・交流機能	
1. 文化活動拠点の提供	35
ナイトセミナー	35
2. 人のライブハウス	37
3. 区内ミュージアムとの連携	38

Ⅲ—4	アカデミー機能	39
	日比谷カレッジ実績	40
Ⅳ	運営管理部門	
Ⅳ—1	企画・広報部門	50
Ⅳ—2	ホール、会議室の管理、運営	51
Ⅳ—3	レストラン、ショップ&カフェ	52
Ⅴ	経理・庶務	54
Ⅵ	評価	57
Ⅶ	条例・規則・要綱	65
Ⅷ	資料編	78